

## 意見聴取結果記録書

内 容	地域再生計画の中間評価における意見聴取
学識経験者	所属 足利大学工学部創生工学科 建築・土木分野 建築学コース 氏名 藤谷 英孝 講師
意見聴取日時	【現地調査】令和2年9月1日（火） 午前9時30分から12時まで 【意見聴取会議】令和2年9月15日（火） 午後2時から3時30分まで
意見聴取結果	<p><b>【指標① 観光交流の活性化】</b> についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数の中間目標値は達成している。ただ、コロナ禍の影響で令和2年は減少することが予想されるため、最終目標達成が困難になると考えられる。</li> <li>・観光客は足利学校・鏝阿寺等の市中心部に多いことから、市外から中心部への交通ルートを確保することが必要となる。</li> <li>・コロナ禍の影響で公共の交通機関の利用だけでなく、自家用車の利用も増える可能性があるため、交通体系の整備が重要となる。</li> </ul> <p><b>【指標② 人口減少の抑制】</b> についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の人口は減少しているが、世帯数は増加しているため、世帯分離が進んでいると考えられ、人口減少の対策として、子育て世帯、特に若い世帯の転入が重要となり、その支援が求められる。</li> <li>・子育て世帯では自動車利用が多いことから、交通渋滞が発生しにくい道路、道路・歩行空間の安全性確保などが重要となる。</li> </ul> <p><b>【各路線の進捗状況】</b> についての意見</p> <p>(1) 鹿島山下通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山前地区では整備された南北方向の道路が少なく、令和2年5月に供用開始となり、南北方向の交通路確保として重要な位置づけとなる。</li> <li>・今後、交通量調査などで他県の観光客か、地元のナンバーか、実際に道路が開通することで、利用台数の増加量を確認する必要がある。</li> <li>・アンダーパスについて、ポンプ整備など洪水・冠水対策がなされているが、想定を上回る洪水に備えて、ハザードマップなどに記載することで、住民に周知していくことが大切になる。</li> </ul> <p>(2) 五十部町4号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道三重小俣通りから足利赤十字病院へのアクセス路と位置づけられ、周辺住民の通学路としても活用されており、歩道整備が必要となる。</li> <li>・踏切の工事は令和6年度までの予定であるため、完成まで5年程度あることから、その期間中の交通事故への対策をすることが求められる。</li> </ul>

(3) 江川利保通り

- ・本路線北側の名草川の橋での交通量が多いことや、市道北郷学校通り（都市計画道路永楽町利保線）は小中学校に面しているため、本路線を整備することで、それらの道路における交通量を減らすことが期待できる。
- ・中間評価時において、進捗状況が4.7%であり、進捗率を上げるためには用地買収が重要となり、次期計画も含めて予算の確保が課題となる。

(4) 三重小俣通り

- ・渡良瀬川の北部において、東西方向の移動のルートとして主要道路のひとつであるため、快適に走行できるような道路整備が重要となる。
- ・令和2年度で進捗状況は100%となるが、路面標示が消えている部分もあることから、安全に走行できるよう将来的にはカラー舗装や速度制限など、事故への対策が必要になると考えられる。
- ・現在、北側に水色の矢羽根の路面表示をして自動車歩道側から離れて走行するような措置がなされているが、自動車と自転車の交通量が多いことから、今後も継続して安全対策を進める必要がある。

(5) 大岩月谷線

- ・住民の迂回路、観光ルート、観光客・ハイカーが怪我をした際の輸送路、災害時の代替ルートとして重要な道路として位置づけられる。また、台風時の土砂災害危険箇所の対策としても有効である。
- ・勾配や地質の関係で、モルタル吹付と植生基材吹付を区別して施工されているが、今後、特に植生基材吹付の区分を適切に維持管理する必要がある。
- ・多様な利用がなされているため、将来的に交通量が増えた場合、待避場所を増やして一時的に通行しやすくするなどの対策がある。

【地域再生に関する視点】についての意見

- ・地方都市においては、市中心部の人口が減少する傾向にあり、住民が安全・安心に歩けるような対策がなされている。具体的には、自動車の速度低減、通過交通の抑制のために、狭さく、ハンプなどが設置される事例もある。
- ・道路は自動車の交通だけでなく、住民の生活空間として、子供が遊んだり、住民の立ち話など、遊び場・交流の場としても見直されている。
- ・足利市においても、特に中心部で空き地・空き家が多いことから、将来的にこのような視点を持つことで、人口減少の抑制に直結すると考えられる。